

平成21年度事務事業評価一覧表（20年度実施事業分）

部局名： 農 政 部

事務事業名	最終予算額 （千円）	決算額 （千円）	事 業 の 概 要		事業の成果と課題	事 業 の 評 価			
	実施方法		事業の目的	事業内容		ニーズの変化	県の関与を 見直す余地	有効性を 高める余地	効率性を 高める余地
担当課（室）	実施根拠								
生乳乳製品流通対策事業	582	582	・需要に即した生乳の円滑な計画的生産の推進及び生乳流通の適正かつ円滑な確保を図る。	・指定生乳生産者団体が行う生乳の計画生産・需給調整のための事業に要する経費を助成。 1 生乳の適正・円滑な需給調整指導 2 指定生乳生産者団体が行う生乳計画生産・乳成分取引等の推進指導及び生乳流通・需給状況の調査分析等に対する補助	・牛乳の消費が減少を続けており、需給バランスの維持のための計画的な生産の必要性が高まっている。 ・全国的に同じ方法で需給調整が行われている。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	補助					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
農産物マーケティング室	生乳乳製品流通対策事業補助金交付要綱					減少	余地あり	余地あり	余地あり
信州農産物輸出支援事業	2,500	2,500	・信州産農産物の販売チャネルの多様化と生産農家の意欲向上を図るため、観光・物産とタイアップし、県産農産物の海外販路の開拓及び情報発信、輸出が円滑にできる環境づくりを支援し、海外における信州農産物のブランド化を図る。	「長野県農産物等輸出促進協議会」が行う信州産農産物情報発信イベントへの支援（負担金） 台湾、香港、上海での信州フェアの開催	・果実の輸出量は、年々増加している。 （H18 641.8 t H19 714.7 t H20 1,263.7 t ）	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	負担金					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
農産物マーケティング室	長野県食と農業農村振興計画					減少	余地あり	余地あり	余地あり
病害虫防除所運営費	5,265	5,265	・全国的統一性のある植物防疫体制整備を図り、植物に有害な動植物に対する適時適正な防除を通じて、農業生産の安定及び生産性の向上を図るとともに安全・安心な農産物の供給に資する。	病害虫防除所の運営に係る補助 補助率：国 定額	・庁舎等の管理や修繕等により、病害虫防除所の運営及び各種事業を円滑に行うことができた。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	補助					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
農業技術課	植物防疫法第35条					減少	余地あり	余地あり	余地あり
発生予察事業	11,708	11,708	・農作物の生産確保と品質向上を図るために、病害虫の発生及び被害を的確に予察し、これに基づいて発生情報等を農業者等に提供し適正防除の実施を推進する。	病害虫の発生予察に対する補助 補助率：国 定額・ 1 / 2 ・病害虫発生予察ほ等の設置による病害虫発生予察情報の提供 ・植物防疫情報総合ネットワークによる情報整備 ・重要病害虫調査 57カ所 ・植物防疫協会への助成	・病害虫発生予察情報を発行し、生産者の病害虫防除に役立てた。 ・重要病害虫調査を実施したが、発生は認めなかった。 ・農業安全使用サポートシステム運営し、農業の最新登録情報に基づく更新を随時行った。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	補助					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
農業技術課	植物防疫法第35条					減少	余地あり	余地あり	余地あり
畜産振興対策推進事業	2,999	2,886	・強い農業づくり交付金による畜産振興事業、農畜産業振興機構の畜産業振興事業、地方競馬全国協会畜産振興補助事業などの各種助成事業が、円滑かつ適正に執行できるようにする。	・強い農業づくり交付金を円滑に推進するための指導推進事務、及び強い農業づくり交付金の積極的な活用に向けた啓発・推進を行う。 ・畜産業振興事業を進める事業主体（団体）への指導を行う。 ・地方競馬全国協会の補助事業を行う実施団体の事業執行の適切さを審査する。	・事業実施主体の指導などを通じ、円滑かつ適正な畜産振興各種事業を推進することができた。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
園芸畜産課	・（独）農畜産業振興機構法 ・強い農業づくり交付金交付要綱					減少	余地あり	余地あり	余地あり

事務事業名	最終予算額 （千円）	決算額 （千円）	事 業 の 概 要		事業の成果と課題	事 業 の 評 価			
	実施方法		事業の目的	事業内容		ニーズの変化	県の関与を見直す余地	有効性を高める余地	効率性を高める余地
担当課（室）	実施根拠								
畜産基地建設事業 償還金	506,351	506,351	・市町村等が譲り受けた畜産基地建設事業の基盤造成整備・農機具等導入に係る債務の返済が適正に行われるようにする。	・(独)森林総合研究所事業費用の県負担分・地元負担分を償還する。(償還期間 平成5年度～平成24年度)	・適正に償還しており、整備した牧場・畜舎・農機具等を使った畜産事業の発展に寄与している。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	その他					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
園芸畜産課	農用地開発公団法及び負担金徴収条例					減少	余地あり	余地あり	余地あり
飼料生産流通対策事業	4,718	4,299	・自給飼料生産に関する組織育成及び技術向上対策を行うことにより、飼料生産を伴った畜産経営を確立する。 ・飼料の製造流通及び使用の各段階における調査等を行うことにより飼料の安全性を確保する。	・自給飼料生産推進事業（飼料増産の推進、自給飼料の品質向上の推進、飼料用種子の確保育成対策、牧場の活用促進） ・飼料安全対策事業（飼料製造販売及び使用の指導、飼料抽出検査の実施、抗菌性物質残留調査及び指導等）	・1戸あたりの作付面積は、北海道を除く都府県平均と比較して大きく、さらに年々拡大している。 ・飼料の安全性に関して、製造流通及び使用段階において直接的な検査及び支援を行うことは効果的である。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
園芸畜産課	飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律					減少	余地あり	余地あり	余地あり
凍結精液生産事業	15,338	14,631	・優良な種畜の凍結精液等を生産・供給することにより、特徴ある畜産物の生産促進を図る。	・優良種雄畜（牛、豚）から精液を採取し、凍結保存し、需要者に供給する。	・優良種雄畜の凍結精液等の供給により、特徴ある牛肉・豚肉の生産に寄与できた。 ・肉用牛については、現在残っている優良種畜で凍結精液を生産、供給していく。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
園芸畜産課	家畜改良増殖法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
家畜改良推進指導事業	3,965	3,633	・種畜検査の実施、家畜人工授精師養成講習会の開催、受精卵移植技術者の技術研修、みつばちの転飼調整を行うことにより、家畜改良の推進を図る。	・定期種畜検査に係る業務受託 ・家畜人工授精師講習会の開催 ・転飼調整会議の実施	・法に基づき適正な事務執行を行うことができ、今後も同様である。 ・新規の家畜人工授精師を養成することにより、家畜の改良増殖技術を推進することができた。今後は、受精卵移植の推進を更に図っていく必要がある。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
園芸畜産課	・家畜改良増殖法 ・養ほう振興法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
家畜導入等生産振興事業	2,329	2,329	・県内繁殖基盤の弱体化が危惧され、また子牛価格の高騰もある中で、繁殖雌牛の導入費の軽減を図り、繁殖基盤の強化及び経営安定を図る。	・特別導入事業（市町村事業）終了に係る償還金	・繁殖雌牛の導入が推進され繁殖基盤の強化に役立った。 ・子牛価格情勢が好調なため、農家所得の向上にも資した。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	その他					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
園芸畜産課	家畜導入事業資金供給事業実施要領					減少	余地あり	余地あり	余地あり

事務事業名	最終予算額 （千円）	決算額 （千円）	事 業 の 概 要		事業の成果と課題	事 業 の 評 価			
	実施方法		事業の目的	事業内容		ニーズの変化	県の関与を見直す余地	有効性を高める余地	効率性を高める余地
担当課（室）	実施根拠								
家畜保健衛生所運営費	21,332	20,866	・家畜保健衛生所の円滑な運営により、地域における家畜衛生の向上と畜産振興を図る。	・家畜保健衛生所運営、管理 ・庁舎、備品の修繕 ・庁舎の施設整備	・家畜保健衛生所の庁舎管理、庁舎・備品等の修繕等を実施した。 ・家畜保健衛生所の円滑な運営により、地域における家畜衛生の推進に寄与できた。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	直接					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
園芸畜産課	家畜保健衛生所法					減少	余地あり	余地あり	余地あり
ふるさと農村支援事業	600	600	・棚田地域及び中山間地域において、都市住民の農業体験、遊休農地の活用、地域住民活動による農地の保全・利活用を推進することにより、農地や農業用水等が有する多面的機能の良好な発揮に資する。	・棚田地域及び中山間地域において、保全活動や交流活動を実施しようとするNPO法人及び県内所在の団体に対し、支援対象事業費の一部（１／２以内、５０万円を上限）を支援する。	・平成２０年度において、棚田保全や都市農村交流を目的に水路の補修、田植え・稲刈り作業、草刈り等農作業の体験、都市住民と高齢農業者や若年農業者等の交流活動を実施した２団体を支援した。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	補助					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
農地整備課	ふるさと農村支援事業実施要領					減少	余地あり	余地あり	余地あり
土地改良区指導事業	7,308	7,308	・土地改良区及び市町村が管理する揚・排水機場等について、専門技術者の適時適切な検査や機能診断により、施設の良好な管理、修繕費用の削減及び施設の長寿命化を図る。	・長野県土地改良事業団体連合会が実施している、土地改良区・市町村が維持管理する土地改良施設（揚排水機場等）の定期及び随時の診断・管理指導等事業に助成を行う。 (補助率：【国】1/2、【県】1/2)	・頭首工、ため池、揚・排水機、水路、水門等184施設の診断・管理指導を行った。 ・耐用年数を迎える施設が増加することから、今後本事業の役割は、増すものと見込まれる。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	補助					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
農地整備課	水土保全強化対策事業実施要綱及び水土保全強化対策事業補助金交付要綱					減少	余地あり	余地あり	余地あり
土地改良負担金利子補給等事業	22,969	22,968	・土地改良事業に係る農家負担金の軽減措置を実施することにより、農業生産の向上と経営の安定を図り、長野県農業の発展をめざす。	・償還額を平準化するための借換資金に対する利息及び担い手への農用地利用集積に積極的で、一定要件以上の償還を行う地区への利息分の一部に助成を行う。	・平成20年度において、4地区を対象に平準化するための借換え資金対する利息及び 7地区を対象に償還利息の一部を助成しており、引き続き債務負担行為により平成29年度まで担い手支援として償還利息の助成等を実施する。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	その他					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
農地整備課	土地改良負担金総合償還対策事業実施要綱及び長野県土地改良負担金償還助成事業助成金交付要綱					減少	余地あり	余地あり	余地あり
農村地域整備基礎調査事業	1,413	1,144	・県・市町村単独事業実績、農地の整備状況、農業水利施設・農業用ため池の施設諸元などの調査により、全国の農業農村整備事業の実績や成果目標の達成状況を把握し、長期計画や施策検討の基礎資料とする。	国からの受託事業として長野県分の調査を実施する。	・長野県の農地や農業用水利施設の等の整備進捗状況が整理できた。 ・農地、農業用水等の効率的な更新整備計画を立案するための基礎資料として活用できた。 ・全国的調査に参加することで、本県の位置付け等が把握できた。	増加	余地なし	余地なし	余地なし
	その他					横ばい	当面余地なし	当面余地なし	当面余地なし
農地整備課	農業基盤情報基礎調査委託実施要領及び農業水利基本総合調査実施要領					減少	余地あり	余地あり	余地あり